



<ひとこと>梅雨到来。「雨に唄えば」のドンのように、雨の中を陽気に過ごそう…。(白)

## H23年度柏市要保護児童対策地域協議会代表者会議

### 5月19日 開催

報道ではかなり深刻な虐待が報告されていますが、発生予防や早期発見・対応、要保護児童の適切な支援などの活動方針が上記会議にて承認されました。H22年度の実情について報告します。

○柏児童相談所からの報告  
千葉全体では115%増で全国4位の数字となります。また虐待の内容は数え方としてはひとつだけを挙げていますが、実際は複数の内容があること、年齢では学齢期前が45%を超えており、心痛む数字です。児相の相談の中で虐待の割合は20%で、それに対しての調査は6割を超えており、虐待に関する動きのボリュームが大きいこと、一時保護したのは374名で虐待件数の17%にあたります。施設や里親など親と離れるのは8%であり、92%は在宅での生活であるため、再発防止のためには隙間のない支援が必要ではないかとの報告がありました。

○柏市家庭児童相談室からの報告  
相談件数はH21年度より1.7倍の646件。やはり就学前が半数以上を占めています。相談のうち虐待は107件、養育困難は144件。養育支援事業（訪問による支援）は延べ150件あり、21年度より1.5倍以上の増加を示しています。



虐待者とみなされる親に接することそのものが誰にとっても困難ですが、親自身が複数の問題を抱え込んでおり、そのことに関わると解決につながることは実感します。どこのように関わられるかを共有することは重要であり、関係者間の支援会議を迅速にかつ必要に応じて開くことの重要性を感じます。

### 《ケアラーへの支援がよいケアにつながります》

「家族（世帯）を中心とした多様な介護者の実態と必要な支援に関する調査研究事業より」

「ケアラー」という言葉、聞きなれないですが、次のような想定であれば、あてはまる人は多いのでは？

#### ★ケアラーとは？

「介護」「看病」「療育」「世話」「こころや身体に不調のある家族への気づかい」など、ケアに必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人のことです。

～どんな人たちが、だれを相手に、どんな思いで、どんなケアをしているか～  
(調査の一部を紹介)

○ケアラーのいる世帯は5世帯に1世帯

○ケアラーはこんなひとたちです

- ・3分の2が女性、3分の1が男性です。
- ・13人に1人は育児と介護の両方をしています。
- ・正規雇用者は6人に1人、非正規雇用者が6人に1人、17人に1人は失業中です。
- ・4人に1人は複数のケアをしています。
- ・年齢は40歳未満から80歳代まで幅広く分布しています。
- ・ケアをしている相手は10歳未満から90歳以上までいます。

○ケアラーはケアをすることで生活に制約を受けています。

- ・12人に1人は20年以上ケアをしています。
- ・4～5人は睡眠が中断されています。
- ・9人に1人は自由時間が1時間未満です。
- ・8人に1人は協力してくれる人が誰もいません。

○ケアラーは現在も将来も問題や不安、悩みを抱えています。

- ・身体の不調を感じている人は2人に1人、
- ・受診したくてもしていない人は20人に1人、
- ・心の不調を感じている人は4人に1人以上

この調査では、4つの提言をしています。その中で、「ケアラーとケアが必要な人がともに尊厳や健康を守り。社会生活を送れるようにする」という提言がありますが、ケアラーは「ケアラー自身への支援策」と「ケアをしている相手に対する日常的そして緊急時の支援策」との両方を強く望んでいること、ケアをしている相手への初期の段階から終末までの包括的なサービスの提供はケアラー支援の前提となっていることは強調したいところです。

## ハートフルワーク柏

柏市では、平成23年4月から、それまでの柏市身体障害者福祉センターの施設名称を「柏市障害福祉就労支援センター」と改め、新たに就労支援事業に取り組むこととなりました。愛称は公募により、「障害のある方、企業、センターのそれぞれが心をこめて働くという目標を達成するために支えあう。」という願いを込め、「ハートフルワーク柏」とつけられました。



が一人でも多く企業での就労ができるよう、相談から定着支援まで一環した支援を行っていきます。今後は関係機関との連携を図りながら、事業の充実を目指します。今後ともどうぞご理解とご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。(ハートフルワーク柏、職員の方より)



※写真は、職業能力評価事業（体験実習）の様子です。

# 児童デイサービス にじっこin柏

H23.5/2 にオープンした「NPO法人希望の虹 児童デイサービス にじっこ in 柏」の取材に行ってきました。

※ あいネット  にじっこ in 柏

あーどんなところですか？

にー児童が放課後に通うところです。個人の遊びを取り入れながら、徐々に集団に慣れていくようにします。特別支援学校に迎えに行き、帰り（18：00 頃）はお宅へ送ります。

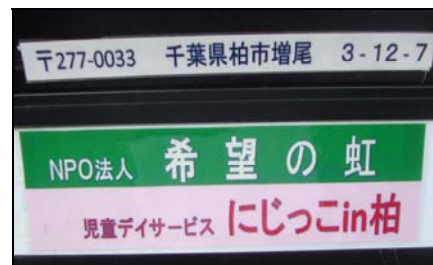
あーどんな療育を大切にしていますか？

にー二つの柱があります。一つ目は発声練習を大切にしています。言葉の遅い児童もおり、毎日保育士が発声練習をします。歌や発声を通して言葉によるコミュニケーションを目指します。また、月2回は声育士が来て 声の出し方の練習、読み聞かせ等をします。

二つ目は臨床心理士が児童の支援計画に関わるところです。普段の児童の様子を撮影したビデオを臨床心理士が観て、児童の特徴や特性をチェックします。その後、保育士と支援計画を立て、それを元に親御さんと面談をします。

あー親御さんからはどんな要望がありますか？

にー（我が子に）人との関わりを持って生きて欲しい、コミュニケーションを取れるようになって欲しいという要望が多いです。



**TEL : 04-7138-5101**

あー最後に、こちらを利用される方へのメッセージをお願いします。

にーここは子供が主役の場所です。今後は敷地に隣接した土地を利用して畑を作る予定です。児童が土と触れ合う機会を作りたいと思っています。

\* \* \* \* \*

NPO法人希望の虹は、習志野で、すでに日中一時や児童デイを開いており、職員さんはそこでのノウハウを生かした療育をしていました。職員さんは児童のペースに合わせて、児童の気持ちに寄り添いながら、自然な形で集団活動へ移行をしているように感じました。一人一人、児童に丁寧に関わる職員さんの姿と児童の笑顔が印象的でした。

## おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
<b>「自閉症の僕が語る自閉症の世界」</b> 講師：東田直樹 氏 （自閉症の僕が語る自閉症の世界）著者	6/12（日） 13:30 ～16:30 （受付13時～）	我孫子市近隣センターこもれび多目的ホール  我孫子市東我孫子1-41-33	一般 500円  虹色くらぶ会員 300円 （家族可）	必要	主催： ・CAS(千葉県発達障害者支援センター) <a href="http://www.5e.biglobe.ne.jp/~cas-cas/">http://www.5e.biglobe.ne.jp/~cas-cas/</a> ・障がい子育て支援サークル虹色くらぶ <a href="http://happyrainbow.jimbo.com/">http://happyrainbow.jimbo.com/</a>  申込み先：虹色くらぶ 担当：大隣 TEL：090-3428-5328 問い合わせ：有限会社ビーベスト内 TEL：04-7176-9188
<b>「高次脳機能障害～脳のリハビリテーションと対応～」</b> ～高次脳機能障害の治療的アプローチとしての認知リハビリテーションについて～  講師：中島恵子 先生 （帝京平成大学健康メディカル学部 臨床心理学研究科教授）	6/26（日） 13:30～ 16:00	柏市中央公民館 5階講堂 （柏市柏5-8-12）	200円 （資料代）	不要 （先着180名）	主催：東葛菜の花「高次脳機能障害と家族の会」  問い合わせ： *東葛菜の花 綿貫 吉治 TEL/FAX: 04-7174-3998 Mail: <a href="mailto:yh-watanuki@jcom.home.ne.jp">yh-watanuki@jcom.home.ne.jp</a> URL: <a href="http://members3.jcom.home.ne.jp/toukatsu-nanohana/">http://members3.jcom.home.ne.jp/toukatsu-nanohana/</a>  *生活クラブ風の村まんてん柏 TEL：04-7162-5933（担当・宮城） Mail: <a href="mailto:manten.kashiwa@kazenomura.jp">manten.kashiwa@kazenomura.jp</a>